

BS12 トゥエルビ

2017年1月4日

BS12 トゥエルビ

(ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社)

2017年 年頭の辞

ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社 代表取締役社長 森内譲による全役職員向け「2017年 年頭の辞」を下記の通りお知らせ致します。

記

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

2016年を振り返ると、世界の政治や経済の不確実性が高まり、先行き不透明な状況が続いた激動の1年でした。年初に121円台だった円相場は6月に99円まで急落、その後12月には120円に近いところまで戻りました。年初に19,000円を割った日経平均株価は、6月に15,000円台を割るまで急落、その後12月には19,000円を超え年初来高値を更新しました。12月の日銀短観では、業況判断指数が大企業・製造業で1年半ぶりに改善しました。変動に翻弄された感のある1年でしたが、年末にはやや落ち着きを取り戻し、国内外の景気上昇への期待感が高まって終わった年だったと思います。一方、BS放送業界を見てみると、4K・8Kの試験放送が開始し、2018年の本放送に向けた一歩を踏み出すなど、放送高度化の流れの新しい段階に進んだ重要な年でもありました。

2016年の当社は、中期経営計画で設定した2020年3月期の在り姿（目指す姿）と定量目標の実現に向け、スピード感を持ってアクションプランを実行してきました。改組による意思決定の迅速化、スポット営業強化、オフィス拡張、他メディアとの連携、コンテンツ投資、動画配信サービスの実験など、各種施策に取り組んだ結果、困難もありましたが、総じて充実した良い1年だったと思います。

2017年は、新・中期経営計画（2018年3月期 - 2020年3月期）の1年目となります。2020年3月期の在り姿（目指す姿）をより鮮明に描いた上で、「次の10年（2020年～2030年）を生き抜くための体質強化」と「業容拡大へ向けた新規事業育成」を加速させます。

メディアとしての価値を高めていく上で、認知度の向上および編成の強化は必須です。全体の接触率の底上げを図り、より視聴者から“選択される局”を目指しましょう。新規事業にはリスクも伴いますが、慎重かつ大胆にチャレンジして欲しいです。

7月には、新放送マスター設備が完成し稼働を始めます。開局10周年の節目となる2017年を更なる飛躍の機会と捉え、新しいBS12トゥエルビを共に築いていきましょう。

最後に、皆様とご家族のご健勝とご活躍を祈念し、私の新年の挨拶とさせていただきます。

以上